

一般社団法人 神奈川県作業療法士会

令和5・6年度役員選挙 選挙公報

令和5・6年度役員選挙の立候補者募集（募集期間:2023.1.19～2/19 消印有効）に対し、理事12名、監事0名の立候補がありました。以下に、立候補者の氏名・所属・コメントをお知らせいたします。

| | 氏名 | 所属 | ひとこと |
|----|--------|-----------|---|
| 理事 | 玖島 弘規 | 横浜旭中央総合病院 | この度、理事に立候補させて頂きました玖島弘規と申します。私は3期6年に渡り理事を務めさせて頂き、今期は財務担当理事として活動させて頂きました。その中で、適正な財務会計処理と予算案の作成、各種マニュアルの改訂などを実施して参りました。今後も適正な財務活動を継続し、会員の皆様や県民の皆様に還元できるよう務めていきたいと考えております。引き続き理事として神奈川県作業療法士会のため、神奈川県民のために尽力して参りますのでどうぞ宜しくお願い致します。 |
| 理事 | 佐々木 秀一 | 北里大学病院 | この度、理事に立候補いたします北里大学病院の佐々木秀一と申します。これまで3期6年の間、学術部部长としてスキルアップ研修事業、研究助成事業、学術誌刊行事業の改革に取り組んでまいりました。研修会では、オンライン決済サービスを導入し、オンラインでの研修会の開催回数も増やし、多くの会員が参加しやすい環境を作ってきました。研究助成事業では7年目以下の若手の会員が研究に参加し易いように若手枠の設置は継続して行なっております。学術誌刊行事業では、昨年度からオンライン投稿システムおよび電子ジャーナルへ移行し、速報性の向上とJ-stageで神奈川発の貴重な知見を全国のOTへ発信できるようになりました。今年度からは研究倫理委員会の設置を目指し、多くの会員が研究できる土台を作り上げていきたいと考えております。神奈川県作業療法士会の更なる発展、県士会員の皆様に貢献できる仕事を行なっていきたいと考えております。どうぞよろしく願い申し上げます。 |
| 理事 | 神保 武則 | 北里大学病院 | 神奈川県作業療法士会の会員のため、また、地域にお住いの方々に作業療法を提供していくためにも、本県士会の活動と発展に力添えができればと思います。何卒宜しくお願い申し上げます。 |

| | | | |
|----|-------|--------------------------|---|
| 理事 | 和田 尚 | 医療法人社 団 綾 和 会 間中病院 | この度、理事に立候補しました、和田尚と申します。2021 年度からエリア化推進委員を拝命し、県士会活動に従事して参りました。小田原市内の回復期病院に勤務し、経験 21 年目になります。エリア化推進委員の活動を通して、OT だけではなく、様々な人達と知り合いになって、地域の OT と縦横斜めの関係でつながり、ネットワークの網の目を広げていながら、神奈川県 of 県西地域や県全体での作業療法を、地域に根差したリハビリテーションとして充実させていくことに貢献していきたいと思っております。どうかよろしく願いいたします。 |
| 理事 | 野本 義則 | 東京医療学 院大学保健 医療学部 | 私は神奈川県内の精神科病院で臨床に携わり、現在は都内の OT を養成する大学に勤務しております。これまで士会の業務として、副事務局長を 4 年、広報部担当理事を 2 年務め、現在は制度対策部担当理事として 4 期 8 年間、勤めております。今期においては、福祉用具に関する研修会開催と会員および他職種への支援や啓発、また災害対策では安否確認システムの運用訓練に加え、理事役員の災害時などの連絡システムを構築し、自動車運転に関わる情報発信を神奈川県警と協力して行いました。さらには、中堅や職場でのリーダーといった OT に対する、情報交換を中心とする研修会を開催しました。これらをはじめとする様々な活動を、部内のメンバーの協力のもと実施できました。次期も、作業療法士が生き生きと活躍できるよう努め、また教員の立場から未来の作業療法士のためにも尽力したいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。 |
| 理事 | 奥原 孝幸 | 神奈川県立 保健福祉大 学 | これまで、教育部理事を複数期担当してきました。生涯教育制度関連の研修会開催に加えて、臨床実習指導者講習会を開催するなど、県士会員、県民に貢献できますように努力して参りました。また県士会のかかえす課題も多々あり、まだまだ理事として活動させていただきたく立候補させていただきました。よろしく願い申し上げます。 |
| 理事 | 佐藤 隼 | さがみリハ ビリテーシ ョン病院 | これまで広報部や地域リハビリテーション部の県士会活動に参加させていただき、作業療法に対する県民の方々からの期待とまだ認知されていないことの多さを感じてきました。作業療法士ができることをたくさんの方に知っていただき、身近な安心感を届けられるよう、会員の皆様の活躍やメッセージをこれからも発信していきたいと思っております。よろしく願いいたします。 |

| | | | |
|----|--------|------------------|---|
| 理事 | 田中 ゆかり | 藤沢市保健医療センター | <p>コロナ禍で会員の皆様と直接お会いできない日々が続いています。特にこの2年間は副会長という立場で県士会活動と向き合い、改めて会員としての所属感や、職能団体としてのあり方など、様々な視点で考える期間でもありました。丁度40周年の節目となる時に県士会の歴史を振り返る機会を頂き、40周年記念事業を通して、会員一人ひとりにとって県士会が身近な存在である様活動して参りましたが、これから先10年後、今よりもっと会員や県民の皆様にとって必要とされるにはまだ足りない部分もあると感じています。今、取り組んでいる組織改編や事業の整備をすすめ、皆様の地域での活動をバックアップでき、共に成長できるような組織づくりに尽力したいと思います。</p> |
| 理事 | 佐藤 範明 | 昭和大学保健医療学部作業療法学科 | <p>私はウェブサイト管理委員会で企画・管理・運営に6年間、地域リハビリテーション部では精神科領域の研修の企画・運営に4年間携わらせて頂き、2019年度からはウェブサイト管理委員会の理事を2期4年務めさせて頂きました。前回任期では昨今のメディア事情や情報取得手段を考慮し、県士会サイトの情報発信を視覚的効果が高まるようにメディア戦略や運営を行ってまいりました。また、事務局等の他部署と連携し、会員の皆様に多くの有益な情報が発信できるように努めてまいりました。今後とも望ましい情報発信戦略を模索し、検討を重ねていきたい所存です。理事になるにあたり、昨今は作業療法の啓発にも力を注いできたと自負しておりますが、年々作業療法士を目指す学生の減少が喫緊の課題であると感じています。県民への作業療法啓発は勿論のこと、魅力ある専門職である作業療法士を多くの県民に広め、興味を持っていただけるように尽力致します。若輩者ではありますが作業療法の発展のため、会員に有益性が還元でき、また県民への健康と幸福への関与、作業療法の周知・啓発に携わり、神奈川県作業療法士会を活性化させていきたい所存です。</p> |

| | | | |
|----|-------|---------------------|--|
| 理事 | 澤口 勇 | 訪問看護ステーション レンゲの花 | <p>私はこれまで理事を 7 期務めて参りました。その間の県士会は一般社団法人の設立、WFOT 横浜大会への参画、県内リハ職 3 団体の設立など、皆様の活躍がより着実に地域に根付くようにその基盤を作ってきました。一方で感じたことは、制度の細分化です。従来は一人の作業療法士が急性期から退院後の維持期まで担当できたのですが、今は医療保険・介護保険・障害福祉というようにそれぞれの期に分けられて作業療法士が活躍しています。働く職域分野も身障・小児・精神・老人・成人・行政・学校教育・労働・司法などに別れ、また最近では身障分野を例にとっても疾患別に脳卒中、心臓病、がん、糖尿病・・・とそれぞれに特化して専門性を発揮しています。そのため、作業療法士たちの横のつながりの場を作ることが大変重要だと気づきました。また政府は全世代型の社会保障の充実を求めています。地域共生社会の到来です。そこで感じたのはより広範囲においてこれまで作業療法に関りがない市民の方にも作業療法をより知って頂くことも県士会の役割です。私自身も精神科での臨床経験を活かし、現在は訪問看護ステーションにおいて精神科専従の地域支援に携わっております。より広域な OT の概念を広め、市民や障害者、生活困窮者の健康と福祉を守る皆様の活躍に少しでもお役に立てればと思い、引き続き立候補を決意しました。よろしくお願い致します。</p> |
| 理事 | 遠藤 陵晃 | 横浜 YMCA 学院専門学校 | <p>このたび、立候補させていただきます遠藤陵晃と申します。これまで理事として、地域支援事業を中心に難病・小児・精神領域の研修会や普及啓発を行ってきました。また、神奈川県や県内の市町村、各専門職団体との連携や事業も行ってきました。今、行政や他の専門職団体と連携を取っていく中では、県民の健康増進には作業療法士の力を必要とされています。会員の皆様と県内各市町村で作業療法士が身近で必要とされる存在になるように努めていきたいと思っております。引き続き、神奈川県作業療法士会の円滑な事業展開に尽力する所存です。</p> |
| 理事 | 望月 強併 | 日本鋼管病院 | <p>この度立候補しました望月強併と申します。2 年間認知症対策委員会の理事として県士会活動に取り組んできました。コロナの影響のため、積極的な活動が難しい状況でした。今後も神奈川県の作業療法の発展のため立候補させて頂きました。</p> |

今後は役員選挙規定に則り、理事会による理事・監事の推薦に移行します。

全ての役員の正式な決定は、令和 5 年度の社員総会にて行われます。

選挙管理委員長 池田公平